

いなぎ苑便り

(年4回発行、令和4年度春号)

発行・編集 社会福祉法人 永明会 いなぎ苑 広報委員会

【 施設長より『からくり時計』へ込めた思い 】

苑内の雰囲気には合う形の「からくり時計」をドイツより購入しました。外観は木製で落ち着いた雰囲気、かつ時刻に合わせて人形が踊ります。動力は、鎖にオモリを掛け、重力によって徐々に下がってくる力を利用しているため手動です。いなぎ苑ではこういった「ひと工夫」や「あそび心」を大切にしています。「からくり時計」を見ながら、悠久のひとときを感じて頂ければと思います。



オルゴールとからくり仕掛けの木彫りのカッコウ時計

お花見

お天気が良く暖かい日に、満開の桜の木の下で、特養の利用者様、デイサービスの利用者様、それぞれに、体操をしたり、歌を歌い、お花見を楽しんで頂きました。



【 特養お花見会 】

今年の桜の開花は3月14日で、平年より10日も早く、東京としては統計開始以来、最も早い記録でした。

当日はあいにくの雨天で、さくら庵室内でお花見会を開催しました。室内に桜の枝を活けて、まどかに満開の桜の花を楽しみました。窓から苑庭の桜を見ながら、職員が利用者の皆さんと一緒に歌い、利用者様の表情もほころび、笑顔も咲きました。



【 節分 】

デイでは2月2・3日の2日間、特養では2月3日の薄曇りの天気の中、金棒（柔らか素材）を持った赤鬼、青鬼（ともに職員）がいなぎ苑に現れました。その鬼達が嫌いな大豆をご利用者様方は「鬼は〜外！」の掛け声と共に鬼達に打ち付け、見事、鬼退治！鬼達が去った後は頬を上気させた、ご利用者様の大きな笑顔がありました。

【特養】



【デイ】



【 雑祭り 】

デイサービスでは、3月2・3日の2日間、雑祭りのイベントを行いました。雑祭りの由来を説明した紙芝居をスクリーンに映して各セリフを利用者様に読んで頂くと、声優顔負けの名演技を披露して下さいました。また、職員による歌の会も行われ、皆様声を合わせ合唱し、楽しいひと時を過ごされました。



【 鯉のぼり 】

いつもの年よりも暖かいので、桜の花がすでに散ってしまい、今年は共演が出来ませんでした。今年も青空のもと、元気良く泳いでおります。そろそろ、近所の幼稚園から、かわいい園児たちが、鯉のぼりのしっぽを触りにくる時季となりました。

¥



【 春の苑庭 】

春の日差しを浴びて、花々がきれいに咲きました。

